

令和7年度地域課題解決共創事業「One+」 特定テーマ申請書

希望テーマ名	歩いて“つながる”盛岡まちなかプロジェクト ～賑わいを点から面へ～
テーマ要旨 (課題の概要)	<p>盛岡市は「ウォーカブル推進都市」として、人々が居心地よく歩きたくなるまちなかの形成を目指しています。</p> <p>近年、ニューヨーク・タイムズ紙による「2023年に行くべき52カ所」へ選定されたほか、昨年11月の「minä perhonen Morioka」の開店、さらに本年3月にはヘラルボニーの旗艦店「ISAI PARK」がオープンするなど、市内外から注目を集める新たな拠点が次々と生まれています。</p> <p>一方で、これらの拠点を起点とした賑わいが、商店街や個店を含むまちなか全体へと十分に波及しているとは言えず、中心市街地のポテンシャルを面的な展開につなげられていないという課題があります。</p> <p>盛岡の中心市街地は、歴史的な建物と豊かな自然が調和した街並みに個性豊かな商店や文化資源が点在し、歩くことで魅力を感じることができます。このような元来のポテンシャルに、新たな拠点の賑わいを融合させることで、盛岡のまちなかを歩いて賑わいが“つながる”仕組みを創っていきたいと考えています。</p>
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡の新たなファンの獲得 → 盛岡で暮らす学生が、自ら街を歩き、企画し、発信することで、改めてまちの魅力を発見し、身近な「広報大使」として盛岡の魅力を伝える担い手となることを期待します。 まちなかの賑わいの創出と回遊性の向上 → 盛岡の魅力を学生目線で詰め込んだガイドツアーやイベントなど、学生の自由な発想と行動力による企画の実施を通じた面的な賑わいの広がりを期待します。 地域と関わる体験を通じた人材育成 → 活動を通じて、普段関わることのない地域の商店街や事業者などと直接関わることで、まちづくりに関する実践的な経験や課題解決の力を養うことができます。地域と共に考え、共に行動した経験が、学生の皆さんの学びへとつながることを期待します。
担当所属	商工労働部経済企画課
担当者氏名	那須 俊之介
連絡先電話番号	019-613-8389
E - m a i l	keizai@city.morioka.iwate.jp
協力内容	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の商店街や個店、民間事業者とのコーディネート支援 活動の進捗に応じた伴走支援 市が保有する情報の提供 等
その他	質問事項や相談等について自由にご記載ください。